

「アレ」ってどうなった？

追跡調査 🔍 ①

平沼 昌平議員 (R6.3.11)

花田俊勝奨学金基金費については、親が福島町に在住していないと該当しないが、今後高校に町外から多くの子ども達が入ってくる中で、**このままの奨学金で良いのかという懸念が残る**。考えを伺いたい。



小野寺 教育長 (R6.3.11)

今後、ニーズを十分踏まえ改正が必要であれば、広くという風になると思う。しかし、奨学金は親が返している場合が多く、親が町内にいないのは、非常に課題になると思うので、教育委員会で慎重に**検討していきたい**と思っている。



議会のコトバ

追跡調査（議会一般質問等答弁事項進捗状況調査）

一般質問、議案に対する町長・副町長・教育長の**答弁後の対応を調査して公表することで、町民への説明責任を果たすことが目的**です。「検討します」や「見直します」等の答弁があった時に議会運営委員会で追跡調査するか検討し、対応しています。

調査結果

調査
続行

小野寺 教育長 (R6.6.3 現在)

今後の教育委員会議等で、検討を行っていく予定。

なお、定住に結び付けるための制度や新たな支援策については、**厳しい財政状況も鑑み**、関係部署や議会と議論を深めていかなければならないと認識している。

「アレ」ってどうなった？

追跡調査 🔍 ②

平沼 昌平議員 (R6.3.11)

町外からの高校生について、新しい寮だけでなく、**民宿や下宿で対応する視点も考えていくべきと思う**。町内の家庭の協力を得ながら進めていくことを考えてみてはどうか。



小野寺 教育長 (R6.3.11)

青少年交流センターは毎年17人に限って募集していきたいと考えている。枠を設けるため、交流センターに入れない子どもが出てくるが、それでも入りたい場合に備えて教育振興会やOB会と話し合い、受入家庭について**模索していく**。



調査結果

調査
終了

小野寺 教育長 (R6.6.3 現在)

「個室であり、集団として成長できる新潮舎に入居できなければ受験しなかった」と多くの生徒が回答。生徒の受入は、当面増築により対応できると考えているが、教育振興会や福島商業高校同窓会などから意見を聞いていく。

